

# 中信高校山岳部かわらばん

編集責任者 大西 浩

池田工業高等学校

## 雪質観察・・・センター講師研修会から その2

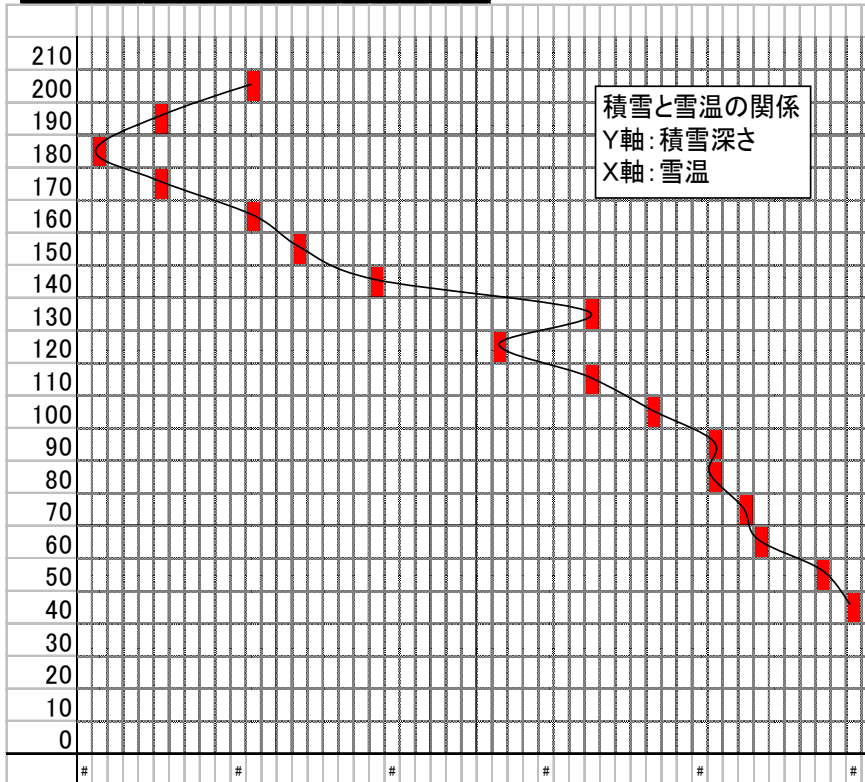
積雪	雪温	観察できた層など	堅さ			
			こぶし	4本指	1本指	鉛筆 ナイフ
210		新雪				
200	-4.9	こしまり	*			
190	-5.5	こしまり	*			
180	-5.9	こしまり		*		
170	-5.5	こしまり		*		
160	-4.9	しまり			*	
150	-4.6	しまり			*	
140	-4.1	しまり			*	
130	-2.7	しまり			*	
120	-3.3	しまり			*	
110	-2.7	しまり			*	
100	-2.3	氷板(10mm)			*	
90	-1.9				*	
80	-1.9				*	
70	-1.7	氷板(5mm)			*	
60	-1.6				*	
50	-1.2				*	
40	-1				*	
30						
20		笹のため測定不能				
10						
0						

センター講師研修会 2 日目は、鹿島槍スキー場 上部黒沢尾根において、雪質観察を行った

今年は、黒沢尾根の 1520m 付近の南斜面においてスノーピットを掘ったが、結果は、左記の表とグラフに示した通りである。積雪は例年よりは少なめであった。(昨年とはほぼ同様)

肉眼で観察したところははっきりとした弱層は目視できなかった上、シャベルコンプレッションテスト (※1)、バープテスト (※2) の結果でも、今回は 100cm のところにある氷板までの部分では、かなり安定しているという結論に至った。わずかな日射等があったものの、年明け後かなり寒気が続けて入り込んで来る中で、積雪が一様に続き、圧密される中で安定化に向かったものと考えられる。

毎年継続的にこのような観察を行っている、その年、その年によって雪の状態がちがうことが



よくわかっておもしろい。ちなみに去年の結果 (かわらばん No.341/2010.02.03 で報告済みなので興味のある方は比較してみてください) と比べてみると、今年の雪温は昨年よりもかなり低いことがわかる。今年は正月から次々と寒波が入り込み、寒い寒いと思っていたが、降り積もった雪は、降ったときの履歴をその中に確かに残していた。

今年が去年に比べ

て間違いなく寒いことは証明できる。

その後は、ビーコンを使った雪崩搜索訓練と、搬送訓練を行なった。今回、僕らはこの研修会を今夏の遠征登山の合宿とも位置づけ、センターにお願いして参加した4名の隊員（松田、久根、山内、大西）を同じ班にさせていただいた。雪崩搜索訓練をこの4名でチームを組んで行なうことにより、自分たちの力量をあげることができた。極めて個人的な感想であるが、大変にありがたかった。

※1) シャベルのブレードと同じ30cm×30cmの雪柱を掘り出し、シャベルのブレード部分を平に乗せて上からたたく（圧力をかける）ことによって、安定度をはかるテスト

※2) 30cm×30cmの雪柱を掘り出し、雪表面から30cm程度の厚さの部分からシャベルですくいとり、下からたたく（圧力をかける）ことによって、安定度をはかるテスト

## 今年も「時期」になりました・・・北信越高校山スキー研修会

「時期」とは、もちろん山スキーの時期のことである。2年前の11月新潟県で行なわれた「北信越高体連絡協議会」の懇親会のと時の話から始まった「北信越高校山スキー研修会」。同じ北信越の高校教員の仲間で「一緒に山スキーをやりながら懇親を深めよう」というのがその趣旨。言いだしっぺは、長野の大西英樹先生と石川の根石修先生だった。

その大西英樹先生からこの研修会のお誘いが今年も回ってきた。一昨年は、雨飾と白馬乗鞍で、昨年は白鳥山で行なったが、今年の会場は妙高三田原山と、黒姫山とのことである。昨年はこの話を聞きつけた岡山県高体連の田中初四郎先生が長駆、参加された。その田中さん、今年も参加の意向を示されている。以下、大西英樹さんからのご案内の文を掲載するので、北信越の高校関係者に限らず、興味のある方はふるってご参加下さい。高校現場の情報交換の場としても有効ですよ・・・。

**日程が近くなつての連絡で申し訳ありませんが、北信越スキー研修会を2月5・6日の日程で行いたいと思います。5日、妙高杉の沢スキー場より三田原山登山後、滑降。宿泊場所は未定ですが、近隣の宿に宿泊。6日は黒姫スキー場より黒姫山登山後滑降、解散となります。1日だけの参加も可能です。都合がつくようでしたら連絡ください。**

**1日目 2月5日（土）妙高三田原山**

8：30 妙高杉の原スキー場駐車場集合（駐車場が広いので携帯もしくは無線で相互連絡）  
8：50 ゴンドラ乗車—9：20 リフト乗車—9：40 登高開始—11：00 2300標高点—11：30 カルデラへ滑降—13：00 2300標高点より南へ滑降—14：00 林道合流—15：00 スキー場リフト下部到着—15：30 妙高杉の原スキー場駐車場 到着

**2日目 2月6日（日）黒姫山東尾根**

8：30 黒姫スキー場駐車場集合 最上段のコスモスプラザ前—8：50 リフト乗車—9：20 登高開始—12：00 黒姫山 2000m—12：20 滑降開始—13：30 黒姫スキー場ゲレンデ

## 編集子のひとごと

文字通り冬らしい寒い冬が続いている。雪の多い地方の皆さんには恐縮だが、雪あればこそ楽しめるシーズンがやってきた。くれぐれもご安全に。自戒も込めて。（大西 記）